

議長定例記者会見 会見録

日時：令和5年1月10日 10時30分～

場所：全員協議会室

1 冒頭の挨拶

2 質疑項目

- 今年の議会運営について
- 去年の世相を表す漢字について
- 総理の伊勢神宮参拝について
- 新型コロナウイルスへの感染について

1 冒頭の挨拶

（議長）新年明けましておめでとうございます。昨年は、皆さま方には県議会の行事等にかかる報道について大変お世話になりました。本年も引き続きよろしく願い申し上げます。さて、新年を迎えまして、この場をお借りしまして一言申し上げたいと思います。1月18日から、令和5年第1回定例会が開会し、2月15日からは2月定例月会議が始まります。ここでは、県の長期ビジョンである「強じんな美し国ビジョンみえ」と、中期の戦略計画である「みえ元気プラン」に沿った、令和5年度当初予算についての審議が中心になるかと思っております。人口減少対策や観光振興、引き続き新型コロナウイルス感染症の対策など、さまざまな課題にしっかりと対応していくものになっているか慎重に審議する必要がありますので、全議員が、本会議、委員会等を通じて活発に議論できるよう、副議長と共にしっかりと議会運営に当たっていきたいと思います。また現在、議会改革推進会議で、次期の改選後議会への提言を取りまとめるための協議が進められております。次期の議会活動がより良いものとなるよう、提言の決定に向けて議論していきたいと考えております。今後も、全議員が県民の皆さまの負託に応えるべく懸命に取り組んでまいりますので、引き続き皆さまにご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。今年最初の記者会見でありますので、副議長からもお願いしたいと思います。よろしくお願い致します。

（副議長）新年明けましておめでとうございます。昨年末は大変失礼をいたしまして申し訳なく思っております。新年に向けてでございますけども、私は広聴広報会議の座長という立場でございますので、広聴広報について一言申し上げたいと思っております。昨年は皆さま方ご存知のように、広聴広報の取り組みにおきまして、開かれた議会を推進していく上で最も重要な役割であると考

えておるところでございます。現場で県議会、あるいは、やっと4年ぶりに開催することができました高校生県議会などを経験させていただきました。そのような中で、直接県民の皆さんからの生の声を聞かせていただく場の重要性を再認識させていただいたということでございます。このような企画というのが非常に重要であるという意味で再認識をさせていただきました。今後も多くの県民の皆さんが県議会の活動に関心を持っていただけるように、引き続きさまざまな広聴広報に取り組んでいきたいと思っておりますので、どうぞ記者クラブの皆さま方にもご協力を賜りますようお願いを申し上げます。冒頭のごあいさつに代えさせていただきます。どうぞ、今年1年もよろしく願い申し上げます。ありがとうございました。

(議長) 私からは以上でございますので、よろしく願い申し上げます。

2 質疑応答

○今年の議会運営について

(質問) 今、年頭のごあいさつありましたけれども、それにちょっと関わってお聞きしたいんですが、改めて、先ほど、1月18日から議会が始まって当初予算の議論も始まるということをおっしゃっていただきましたけれども、昨年はいろんな議会の取り組みもある中で、例えば差別解消条例ができたという側面もありましたけれども、一方で小林貴虎議員のSNSの投稿というのもまだ県民の中に多く疑問を持っての方もいらっしゃると思います。昨年のいろんな議会の出来事を踏まえて、今年改選を迎えますけれども、三重県議会として、今年度どういった議会を目指していくのかそういう部分について改めて教えていただいてもいいでしょうか。

(議長) まず、新年を迎えて議会が新しくまた開会するわけですが、特に今年は議会議員の改選期でもございますので、その辺は十分意識しながらの会議になっていくと思うんですが、特に一見知事が提案されておりました、強じんな美し国ビジョンみえ、それから中期計画って言うんですか、みえ元気プラン。この辺をしっかりと知事の政策意向に沿って、県議会がどのように対応していくかということが重要課題だと思います。議会の改選を控えておりますけれども、真剣になってみんなが議論していただいて、県民の皆さんのためになるような、しっかりとした施策が遂行される、そのための当初予算の審議が大きな目玉になってくると思っておりますので、しっかり頑張って2月定例会議を終了させたいと思っております。

○昨年 of 世相を表す漢字について

(質問) 年頭のあいさつというか、今のお話について質問がある方はいらっしゃいますでしょうか。では、ちょっとそれ以外のことで個人的に気になってるんですけども、昨年 of 議長 of 最後の会見で、今年 of 一文字が発表できなかったということがあったと思うんですけど、もしよければ、なぜ「道」という漢字を選ばれたのか、後で資料もいただいたんですけども、改めて議長が込めた思いですとか、そういった部分をお聞かせいただければと思っております。

(議長) 「道」という漢字を実は出したかったんですが忘れてしまいまして、皆さん方に大変ご迷惑かけて、せっかくの機会なのにしまったなと思って、後から反省をしているんですけど、「道」と言いますと、みんなが浮かぶのが道路という漢字になってくるわけですが、私は去年 of 5月に議長に就任をさせていただいて以来、私のやってる議会運営は、間違いなく正しい方向に進んでるのかなあと、ずっとそういう自問自答をしてきたわけですよ。そういう中で道理は間違っていないのかなあとか、物事 of 正しい筋道、また人として行うべき正しい「道」というのは何だろうなと、そんなことを思いながら、人が人を批判するのもどうかとかこう考えながら、議会運営やってきたんですけど、その中で、道徳というのでも、この「道」が使われているわけですので、人々がこの善悪をわきまえて、正しい行為をするために、守り、それに従わなければならない規範の総体といいますか、これから外れたとき、政治家一人としてとるべき正しい道はどんなもんかなと、そんなことも考えながら今年1年の終わりについて、道っていうそんな言葉を一字にしたいなと思っておったわけですが、今年こそ満足 of できる道を究めたいなと、そんなことを思っております、まだまだ私の人生続く道でございますけども、しっかり今年1年も頑張りたいと思います。

(質問) 議長が議会運営で間違いなく正しい方向に進んでいるのかちょっと疑問に思う時とか自問自答する出来事ってというのは、具体的にはどういうことがあったんでしょうか。

(議長) 具体的につて今申し上げたように、人が人を批判するってこのこの難しさっていうものも、人のふり見てわがふり直せではないですけども、そんなことを思いながら、いろんなご意見が出てくるわけですけども、それが正しいのか悪いのか誰が判断するのかと、その辺に迷いながらおりましたものですよ、そういうことを申し上げたわけでございます。

(質問) 正しいか悪いか誰が批判するのかという事象は何を念頭におっしゃっ

てたのですか。

(議長) 良い悪いって判断をするのは、日本の今の現状の法律の中では、法律の専門家が最終的な判断を下すっていうことになってますが、道徳的な観点からいきますと、確かに悪いのは目に見える犯罪ですよね、例えば人を殺したとか、交通事故で人を傷つけたとか、そういう犯罪なら悪いということは誰でも理解できて、判断もそれなりにできるんだと思うんですが、やはり人権問題なんかは、どの辺がその線引きをする真ん中なのかっていうのが、なかなか私もいまだに理解ができておりませんので、その辺を人が人を裁くっていうのは難しいなと感じたところです。

(質問) 今年こそ満足できる道を究めたいということですが、これは迫る議員任期後もということですかね。

(議長) 次回選挙が迫ってますので、そのための自分の道というものもきちっと整理をしなければなりませんし、そしてその後の自分の人生というものも考えていかなきゃなりませんので、その辺の道を究めたいなと今年は思ってるんですが。

(質問) これはそうすると、任期の終了後も議員としての道をとという意味ではない。

(議長) そうですね。人としての、人生として人としての道。

(質問) 人としての道と。その上でお尋ねしますが、昨年ちょっと質問にもたくさん挙がっていましたが、議長自身の今後の選挙への態度、進退という点でいかがでしょうか、改めてお尋ねしますが。

(議長) 今ここで申し上げるのがいいのかわかりませんが、また改めて個人的に、私の進退についての皆さん方への報告、県民の皆さん方への報告っていうものは、改めてまた時間を取って、皆さん方のご協力をいただいてさせていただきたいなと思ってますので、どうぞまたご配慮をひとつよろしく願い申し上げたいと思います。

○総理の伊勢神宮参拝について

(質問) 続けてで申し訳ないですが、4日の岸田総理の伊勢神宮の参拝に議長も同行されて、お出迎えもされて随行もされたと思いますけれども、何

かお話をされたりとか、触れ合う機会とかありましたら、お話しいただきたいのですけども。

（議長）短い時間帯でございましたので、総理と直接、個人的なお話をする機会は全く時間が取れませんでした。ただ電車を降りられたときに、三重県議会の議長の前野でございますっていうごあいさつはさせていただきましたら、岸田総理は立ち止まって、大変お世話になっております。ご苦労さまでございます。今日はまたお世話になります。という声をかけていただきましたので、こちらの意思はそれで伝わったのかなと思っています。

（質問）何か参拝の様子であったりとか、その後の年頭の記者会見をお聞きになられて、所感等あればお願いいたします。

（議長）まず参拝の状況ですけれども、皆さん方とも一緒に参道歩かせていただいたのですが、少しコロナ禍ということもありまして、制限もされていたのだと思いますが、今までとは少し雰囲気が違うなっていう感じをいたしました。それは、安倍総理のあの件があって以来、警備体制がやはり強靱になってるなっていう感じもいたしました。おそらく私が今まで参拝をさせていただいた中からいきますと、警備をする方々の人数ですか、それも倍ぐらい近い人数がおられて、なかなか総理のはたに寄りにくいなという、そんな感じすら受けるような状況でありましたし、そして、三重県からは一見知事と、議長の私と、二人だけが参加っていうことになっておりましたものですから、沿道の皆さん方と言葉を交わすっていう機会が非常に今までとは違ってるなという感じを受けました。これまでは地元の県議会議員さんとか自民党の県議会議員も同行して参拝をしておりましたので、いろんな方から声がかかってわいわいとにぎやかな雰囲気でも、楽しい参拝ができるんですけども、今回は割と緊張した物静かな参拝になったのではないかなと思います。それから記者会見の関係ですが、今年は本当に新しい日本を目指していくっていうような、総理の、特に経済をまわしていくんだという心強い発言もございまして、非常に今年1年は総理に期待をしたいなというような、そんな感じすら受ける会見でございましたので、大変我々はうれしく思っております。以上です。

（質問）総理の参拝に関連してなんですけども、総理が外宮を参拝される直前に周辺で爆竹のようなものが破裂したということが伝えられておまして、それをやった人物の意図ですとかはまだ分かってないと思うんですけども、そういったことをどのように受け止められてるかということと、あと選挙、やはり4月に控えてる中でどういうふうに意識としてお持ちになりたいか教えていた

だけですでしょうか。

（議長）爆竹が鳴らされたというのは私も新聞報道で確認をただけでございますので、しかるべく内容については十分理解をいたしておりませんので、申し訳ないと思います。ただ、これから地方議会の選挙が始まりますと、国の要人、いわゆる要職にある方々も応援演説に入られたりする可能性が非常に大きくなってまいりますので、その辺はしっかりと県警の警備体制というものも、取っていただけたらありがたいなと思っておりますので、またその申し入れもできたらしたいなと思っておりますので、よろしくお願い申し上げたいと思います。

（質問）4月に選挙を控えている中で、安倍総理の件もありましたので、言論に対する視点ではどのようにお考えか教えていただけますでしょうか。

（議長）言論を封鎖するというような暴力的な行為によって、それが封鎖されるということは非常に残念なことでありますので、特に選挙というのは、県議会議員の選挙の場合には、候補者が県民の皆さん方に自分の考えている政策をしっかりと訴えて、それをご理解いただけるという、そういう重要な機会でもございますので、それを妨害されるということは、これはもう大変な妨害行為に当たるわけでございますので、しっかりとその辺は県警関係者の皆さん方にもご理解をいただいて、何らかの対策がしていただけたらありがたいなと思っております。

○新型コロナウイルスへの感染について

（質問）副議長にお尋ねしますが、昨年はそういうことでそうだったわけですが、すいません。何かその経験を踏まえて何か、例えばですけど、ご自身がどういう状況であったとか、あと県の対応とか、何らかのこれからの議論に役立つことであったりとか、何かこう見えてきたことがあれば教えていただきたいんですが。

（副議長）もう本当に皆さん方には申し訳なく思っておりますけども、どこで感染したか分からないというのが現状でございます。朝、議会へ出てまいりまして、ちょっと声がおかしかったもんですから検査させていただいたんです。陰性でしたので大丈夫だなということで、午前中の公務だけこなして戻りました。ちょっと何か熱っぽいなということでしたので、簡易のカチッとやるやつで測りましたら、赤い色で40という数字が出まして、これ機械壊れてるなというのが第一回目でございます。調べたら、やっぱりちょっと熱があるんですよ。保健所に指示をいただいて検査に行きましたところ、アウトですね

ということでございました。私、父親が高齢でございまして、家でっていうのはちょっと危険だなということで、もう仕方がなく車を確保しておったんですけど、隔離の施設があればお願いしたいなということでして、たまたま運良く空いていましたホテルに收容されたということでございます。非常にきめ細やかな対応をいただきました。本当に厳しくて、車でそこまで行ったんですけども、車に忘れ物があるんですがということをお願いしたんですけども、いや申し訳ありませんが出るのはやめてくださいということでございました。そういう意味では非常に管理が行き届いていたのかなと思っております。そういう意味では、今県がやっていたら、自宅管理っていうのは非常に難しいかもしれないけれども、少なくとも隔離の施設での管理は非常にきちりされているのかなと思っております。あと、すごく個人的な話を申し上げるとすると、私、電気カミソリ嫌なもんですから、T字型のカミソリで髭をそっているんですが、その持ち込みができないということがちょっと残念だなとは思いましたが、本当にそういう意味では、行政としては対応をきちりやっていたらいいなと思っております。

(質問) それは持ち込みたいと言ったら断られたという。

(副議長) 何かそういう決まりがあって、申し訳ないですが駄目なんですよということでした。それなら仕方ないですねということ。

(質問) 宿泊療養はしっかりと対応してもらったということだと思んですけども、例えば県からの支援を受けたりとか、いわゆる相談窓口であったりとか、そういったところとの連絡というのもしっかりとつながって対応してもらったという感じですかね。

(副議長) そうですね。保健所へ連絡をさせていただいた。そういう連絡の中でもうまくいっているのかなと思いました。

(質問) 他に質問はよろしいでしょうか。

(議長) ありがとうございます。

(以上) 10時55分 終了